

事務事業名		20700 地下水汚染対策事業	予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 5	担当課	環境課	担当班	環境政策班
施策体系	基本施策	21 良好な生活環境の形成	根拠法令	千葉県環境保全条例他				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	施策の展開	39 住み良い住環境の確保	戦略事業	185 地下水汚染対策事業							
	施策の展開		戦略事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 4 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	旭市内では、テトラクロロエチレンによる汚染地域が確認され、汚染の原因究明や汚染範囲を調査を行い汚染土壌の除去及び地下水中の汚染物質の除去を行ったが、汚染物質が地下に一部残留していることから、その挙動を把握するため地下水の水質測定を行っている。 また、旭市内においては硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水の汚染が広範囲で確認されているが、この汚染物質の除去は難しいため、常時地下水を飲用として使用している世帯において上水道の給水管引込みが困難な場合に限り浄水器の設置費用を助成している。 さらに、千葉県で実施している県内全域の地下水水質調査結果を旭市の調査地点における測定結果として有効に活用している。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
平成2年にテトラクロロエチレンによる地下水及び土壌汚染が確認されたため、この地域の地下水が安全とされる環境基準を達成するために始まった。また、浄水器の設置補助は、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水の汚染が広範囲で確認されているもの汚染物質の除去が難しいことから安全な飲用水を確保するために始まった。	テトラクロロエチレンによる汚染地域の地下水は全ての井戸で基準値を満たされたことから、県と協議を重ねながら汚染地域の事業終了時期及び方法を考えていく。また、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水の汚染は広範囲であり、除去対策は困難であるため、今後、汚染地域の拡大を防ぐために対策を県を交えて考えているところである。	テトラクロロエチレンによる地下水及び土壌汚染の汚染地域では、近隣の住民から事業終了を望まれている。硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水の汚染地域における浄水器の設置補助については、ここ数年は設置補助数がない状況にあるが、上水道が敷設されていない地域があるため、安全な飲用水を確保するためには必要であるとの要望がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算) 単位:千円		② 特定財源の内訳 (27年度の決算) 単位:千円				
1.委託料	181	水質検査等委託料	1.国庫支出金	0	2.都道府県支出金	90
2.土地等借上料	10	土地使用料	3.地方債	0	3.地下水汚染防止対策事業費補助金	0
3.補助金	0	浄水器設置費補助金	4.その他	0		0
	0					
	0					
③ 事業費の内訳 (27年度の決算) 単位:千円		④ 事業費の内訳 (27年度の決算) 単位:千円				
1.委託料	181	水質検査等委託料	1.国庫支出金	0	2.都道府県支出金	90
2.土地等借上料	10	土地使用料	3.地方債	0	3.地下水汚染防止対策事業費補助金	0
3.補助金	0	浄水器設置費補助金	4.その他	0		0
	0					
	0					
⑤ 事業費の内訳 (27年度の決算) 単位:千円		⑥ 事業費の内訳 (27年度の決算) 単位:千円				
1.委託料	181	水質検査等委託料	1.国庫支出金	0	2.都道府県支出金	90
2.土地等借上料	10	土地使用料	3.地方債	0	3.地下水汚染防止対策事業費補助金	0
3.補助金	0	浄水器設置費補助金	4.その他	0		0
	0					
	0					

前年度増減理由	検査委託料の減	従事職員数	常時 1人	最大 2人	× 2日 = 延べ 4人
---------	---------	-------	-------	-------	--------------

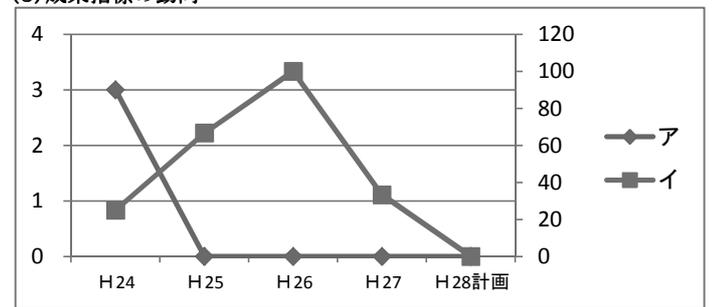
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	27年度実績 (27年度に行った主な活動)		ア テトラクロロエチレンによる汚染地域観測井戸調査箇所数	箇所	20	20	20	20	20
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	テトラクロロエチレンによる地下水汚染地域の水質調査 浄水器設置費の助成 千葉県による地下水の水質調査		ア テトラクロロエチレンによる汚染地域観測井戸基準超過検体数 (環境基準:0.01mg/L)	検体数	3	0	0	0	0
	イ 浄水器設置基数		イ 千葉県による地下水水質調査基準超過率 (基準超過項目:砒素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素)	%	25.0	66.7	100.0	33.3	0.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率
	普通	かなりある	下位 1/3
	小さい	ある程度ある	中位 1/3
		ほとんどない	上位 1/3
			①
			②
			③
			④⑤
			⑥
			⑦⑧
			⑨

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ	数値減=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 数値減=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期 H29.2 内容 この数年間、テトラクロロエチレンによる汚染地域は全ての井戸で基準値を満たしている。今年度は、テトラクロロエチレンによる汚染地域の事業終了の方法について県と協議を行うことを考えている。	今後の方向性 不明 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> その他 ()